

科目ナンバリング		U-LAS03 10001 SB48									
授業科目名 <英訳>		外国文献研究（全・英）-E1：国際移住－移民の視点から理解するグローバル化 Readings in Humanities and Social Sciences (All Faculties, English)-E1 :International Migration, Understanding Globalization from an Immigrants' Perspective					担当者所属 職名・氏名		人間・環境学研究科 准教授 徳永 悠		
群	人文・社会科学科目群			分野(分類)		外国文献研究			使用言語	日本語	
旧群	C群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	演習（対面授業科目）				
開講年度・ 開講期	2025・前期		曜時限	水2/金2		配当学年	2回生以上	対象学生	全学向		
[授業の概要・目的]											
今日、国境を越えた人の移動はグローバル化の中でますます活発化している。日本社会でも外国籍の人々は1990年の107万人から2023年の341万人と3倍以上に増えており、移民とその子孫が日本各地で経済や文化の発展に貢献している。一方で、彼らに対する偏見や差別、格差も残っている。この授業では「一般学術目的の英語」（English for General Academic Purposes, EGAP）の力を伸ばすことを目的として、Khalid Koser, International Migration: A Very Short Introduction, 2nd edition (2016)を読む。国際移住に関する英書の講読を通して、国境を越えて人が移動する理由、移民の生活や権利、移民に対する差別、移民に関する政策などについて考察し、移民の視点からグローバル化について英語で理解する力を伸ばす。											
[到達目標]											
1）現代の国際移住に関する英語の読解力と語彙力を身につける。2）現代の国際移住に関する知識を習得する。3）現代の国際移住について歴史的また構造的に考察して文章化し、積極的に議論する力を養う。											
[授業計画と内容]											
第1回：授業概要説明 第2回：Chapter 1 第3回：Chapter 2 第4回：Chapter 3 第5回：Chapter 4 第6回：Chapter 5 (pp.48-55) 第7回：Chapter 5 (pp.56-62) 第8回：討論① 第9回：Chapter 6 (pp.63-68) 第10回：Chapter 6 (pp.69-79) 第11回：Chapter 7 (pp.80-88) 第12回：Chapter 7 (pp.89-96) 第13回：Chapter 8 第14回：討論② 第15回：フィードバック（テストや授業内容について質問を受け付ける）											
授業（第2～7回、第9～13回）では、教科書の該当範囲について議論する。該当範囲のうち、最も印象に残った段落を一つ選んで翻訳し、その段落を選んだ理由・考察を書き添えた「考察レポート」（A4・1枚、ワード文書）を該当授業前日までにPandAに添付して提出する。授業中は「考察レポ											
外国文献研究（全・英）-E1：国際移住－移民の視点から理解するグローバル化(2)へ続く↓↓↓											

ート」の内容を発表する（毎回8人程度）。授業の後半はグループに分かれて教科書の内容について議論する。

討論①（第8回）の授業では、教員が指定したオンライン記事を読んで議論する。記事を読み、自分が重要であると考えたテーマについて問題提起した「討論レポート」（A4・1枚、ワード文書）を該当授業前日までにPandAに添付して提出する。記事のリンクについては学期中に案内する。

討論②（第14回）の授業では、受講者各自が見つけた移民をめぐる英語の新聞記事（例Japan Times）を紹介して議論する。新聞記事を読み、自分が関心を持っているテーマについて問題提起した「討論レポート」（A4・1枚、ワード文書）を該当授業前日までにPandAに添付して提出する。

※課題はPandAの「課題」ツールから提出する。

[履修要件]

特になし

[成績評価の方法・観点]

考察レポート：55点（11回×5点）

討論レポート：10点（2回×5点）

期末レポート：35点（1回×35点）

各課題は到達目標3項目の達成度に基づき評価する。授業に遅刻また欠席したり、課題の提出が遅れたりした場合は最終的な成績から減点する。5回以上授業を欠席した場合、期末レポートを提出しなかった場合は成績評価の対象としない。

出席は教室のICカードリーダー（出席登録システム）で登録する。「履修の手引き」にあるとおり、ICカードリーダーの出席受付時間は「授業開始15分前から1時間」とする。

この授業における翻訳作業は考察の過程として重要である。考察レポートの翻訳部分について、自動翻訳サイトを利用したことが判明した場合、最終的な成績から大幅に減点する。

[教科書]

Khalid Koser 『International Migration: A Very Short Introduction, 2nd edition』（Oxford University Press, 2016）（必ず「2nd edition」を購入してください。大学図書館データベースでも読むことができますが、手に取って読める書籍として購入することをおすすめします。）

[授業外学修（予習・復習）等]

各提出課題を期限までに準備する。

[その他（オフィスアワー等）]

担当教員の連絡先：ytokunaga28@gmail.com

[主要授業科目（学部・学科名）]